



令和3年度 271名の春！

令和3年4月6日(火)に入学式、4月7日(水)には新任式・始業式・対面式を執り行い、令和3年度の北東中学校がスタートしました。1年生 88名、2年生 84名、3年生 99名、全校生徒271名での新たな船出です。

入学おめでとうございます！

さわやかな春風の中、令和3年度の入学式が挙行されました。新入生のみなさんは、新しい仲間、新しい中学校というステージで緊張を感じながらも、まっすぐな清々しい気持ちで式に臨み、素晴らしい入学式となりました。



感染症対策として、マスク着用、三密の回避、返事や歌の割愛などを行いました。中学校生活開始の節目となる希望に満ちた一日でした。式辞では学校教育目標である、成長して欲しい姿についてお話ししました。それは「明るく伸び伸びとした子ども」「喜んで働き努力する子ども」「仲良くつきあい だれからも愛される子ども」「常に知識を求め 新しい時代に生きぬく子ども」の4つの姿です。今、時代は大きく変わろうとしています。そのような中でも昔から変わらず人とのつながりを大切にする力と、新しい学びを得て力強く生きていくための力の両方を身に付けてほしいのです。新入生の皆さんには、3年後に卒業する時、たくましく成長した姿を見せてほしいと楽しみにする気持ちが湧き起こりました。これから、ともにがんばっていきましょう！



挑戦！ 今から ここから！

始業式に先立って新任式を行い、この4月からお世話になっている8名の新任教員を紹介させていただきました。どの先生も歴史と伝統のある北東中教育に貢献できるよう、新たな気持ちで意欲的に取り組んでいます。どうぞ、これまでと変わらぬご支援をお願いいたします。

続いて行われた始業式は、全校生徒がコロナ禍で久しぶりに一堂に集い実施しました。またジェンダーフリーに向けた取り組みの一環として、男女の別なく、体育館いっぱいに広がって臨みました。会場の換気に注意し、生徒はマスクを着用しながら十分な間隔をとり、静かに参加するという方法をとりましたが、with コロナ時代にあって一歩、あゆみを進めた思いでした。



令和三年度は挑戦の年です。蓄積されたコロナ対応の知見や経験を活かしながら、学校として学びを広げ深める取り組みを進めていきたいと考えています。また生徒の皆さんには、いろいろなことが少しずつできるようになってきた学校生活で、前を向いて様々なことに挑戦して欲しいと期待しています。

「今からここから、まず健康を大切に、授業や活動の意味や価値をきちんと考え、意欲をもってチャレンジしていく一年間に、ぜひ、していきましょう。」と校長から話をさせていただいた後、1年生渡辺夏芽さん、2年生八巻綸花さん、3年齋藤洋人さんが、それぞれ学年代表として、素晴らしい決意を述べてくれましたので、その一部を紹介します。

先日、私たちは小学校を卒業しました。新型コロナウイルス感染症の流行により、新しい生活様式や行事の縮小に戸惑いながらも仲間や先生方とともに助け合い支え合いながら最高学年として全校を引っばってきました。そして先日、入学式を終え、北東中学校の新入生となりました。ここでは何も分からない1年生です。今までとは違った新しい生活に少し不安な気持ちもあります。その反面、どんなことが待っているのだろう、どんな友達ができるのだろう、という気持ちで心を弾ませています。時には辛いことがあるかもしれませんが。その時は先生方や先輩方に助けていただきながら、仲間と協力して乗り越えていきます。今日から3年間よろしくお願いします。

1年 渡辺 夏芽



緑学年では一年生の時、学級役員を中心にたくさんの取り組みを行ってきました。どのクラスも取り組みへの意識が高く、一つ一つの取り組みがとても効果の良い形になっていきました。しかし学年全体を通して一人一人の意識の差が感じられるものもありました。二年生でもたくさん取り組みを行っていきたくないので、一人一人の意識を向上させ、取り組みがより効果的なものになっていくようにしていきたいです。

個人でも学年でもクラスでも、成長し続けることで一年生を引っ張っていけるようになり、三年生のサポートもできるようになると思います。そうすることで一日一日が充実し、とても大切な日々になっていくと思います。そして二年生の終わりには私を含めた緑学年全員が胸をはって三年生になっていけるようになりたいです。

2年 八巻 綸花

課題の改善と目標の達成のため、意識したいことが二つあります。

一つ目は、日々こつこつと努力を重ねることです。授業で毎回意識して発言したり、ノートを工夫したり、部活に少しでも早く出て始めるなどの学校のこと。自主学習をしたり、自主練をするなどの家でのこと。自分はこの家での努力が重要だと思います。

二つ目は一つ一つを大切にすることです。授業や部活はもちろん、10分休みや給食など大切にできる場所はたくさんあります。そのようなことを一つ一つ大切に、全力で取り組むことで、直接結果につながることは少ないかもしれませんが、人間として成長でき、本番などでも100%の力を出し切れるようになると思います。

この中学校最後の一年間は後悔は絶対しないように、一分一秒を楽しみながら、それでも濃く、最高の三年生をこの北東中で過ごしていきたいと思っています。

3年 齋藤 洋人



年度の初めにあって、きっと「今年はこれを頑張る！」と全員の生徒の皆さんが目標をもったことと思います。『人の行動はすべて目標によって決まる』とアドラー(心理学者・オーストリア)は言いました。一年間のスタートにあたっての皆さんの決意には大きな意味があります。目標に向かって具体的に行動していくことは必ず結実し、成長につながります。一年間、毎日がチャレンジです！